関西平和美術展 今年こそ

関西平和美術新聞
2022年2月
第３７号
関西美術家平和会議
広報部発行

■事務局／〒530-0054
大阪市北区南森町2・2・14
TEL 080-8516-7205

２０２２年 第70回関西平和美術展について

坪井 功次

大阪市立美術館の改修工事で地下展覧会室が3年間使用できません。代替え施設を検討してきましたが、大阪市内に平美展に見合った使用料と展示スペースの会場が無く、改めて文化行政の貧困を痛感しました。結果、堺市立文化館を全室申し込み7月26日から31日の開催が決定、美術館並の壁面を確保しました。会場はＪＲ堺市駅の傍にあり、快速で天王寺から10分、大阪駅から25分と近くです。

文化館はチェコ生まれの画家アルフォンス・ミュシャ館と併設されて、ミュシャはポスターで有名ですが、晩年は母国でスラブ民族を愛する多くの作品を残しました。堺は日本でも有数の収蔵数です。

コロナ感染が不透明な状態ですが、新会場での開催に伴う綿密な準備と対応が必要です。堺周辺の方の力は勿論ですが、何より、遠方と思われる方々の呼びかけが必要とされます。一地域でなく、関西の平和美術展として、憲法が危機的な今こそ命と創作を守り、２年分の想いを届けましょう。

堺市立文化館
（堺アルフォンス・ミュシャ館　ギャラリー）
大阪府堺市堺区田出井町１－２－２０
ベルマージュ堺弐番館内
電話 072-222-5533
最寄駅JR阪和線堺市駅下車徒歩約３分

◇堺市立文化館ギャラリーは美術作品や文芸作品の発表の場となっています。

堺市立文化館ギャラリーを使用して

きり絵　前田 尋

加藤義明氏の亡くなる前年の２００９年、40年にわたるきり絵創作活動の顕彰をする「加藤義明きり絵の世界展」を実行委員会のもと開催しました。２階の２室を借り約１００点の作品を並べて１０００人の鑑賞者がありました。全生涯の大阪を描いた祭りや文楽、上方落語や民話などの世界が多彩に展開しました。きり絵の大きな理解と共感が得られたと思います。また、２０１５年には「堺の文化をすすめる市民の会」主催で私と油絵、陶芸の三作家で大作３人展を開きました。２００号から30号の30点を展示して好評でした。

堺市立文化館は、ＪＲの堺市駅の改札口からデッキでつながってすぐです。堺市駅は大阪天王寺から快速で８分程度で便利なところです。ミュシャ館も併設されていて、企画展も開かれています。

２０２２年　第70回関西平和美術展
堺市立文化館ギャラリー
搬入展示　2022年7月26日（火）
会　　期　2022年7月27日（水）～31日（日）
（最終日は搬出含む）

平美展とわたし

平美展との出会い

久保　君代

私の平美展との出会いは、第59回展でした。最初は、平和をテーマにした絵しか出展出来ないのかと思っていました。帰りぎわ「平和の壁に花一輪を」とのスローガンが目にとまり、勇気を出して「日本画」花の絵は出展できますかと聞きました。私は次の年66才から出展し自分が今出展したいと思う絵を選びながら今日に至っています。私は49才の時、病気になり民主的医療機関にお世話になりました。53才頃から日本画の色彩にひかれて今日に至っています。

反戦平和の理念は平美展

柏木みどり

共産党の百年の年。過酷な弾圧の連続。漫画家白土三平が死んだ。父は岡本唐貴。神戸で浅野孟府と出会い、意気投合して東京美術学校に進学。唐貴は多喜二のデスマスクを描く。孟府は加藤虎之助のデスマスクをとる。それは現存する。三島無産者診療所開設のプロレタリア美術展もあり、写真も現存。反戦、平和、帝国主義戦争反対の理念は現在の平美展にある。わたしが平美を大切に思う理由である。

80歳から絵を描く

元橋　明司

雪の降り積もった日、稲わらを敷き詰めた豚小屋へ向かった。横たわった母豚は子豚たちへ授乳の最中であった。オッパイにすがりつき、子豚が5匹並んでいた。ピンク色に丸々と太って耳をぴんと立てて何とも言えない愛らしさ、私は夢中になって画用紙に筆を走らせた。中学3年の時この絵で県から表彰を受け父を喜ばせたのが、唯一の親孝行だったかも知れない。「大阪へ帰りもう一度商売をしたい」と言っていたが疎開先の山形で病を得て、私が高2のとき旅立ってしまった。

山形の高等学校では課外で石膏像を前にしてデッサンばかり描いていました。会社ではデザインとか版下の製作ばかりでその反動が80歳から絵を描き始めたのです。

作品＆9条ゴマメ栞を堺会場へ

こいけ　けいこ

平美展中止で消えた来場者お持ち帰り企画を今年こそ実現させよう。9条への意識をまっさらのエリアに届けよう。現状では改憲したい派の声ばかりが日常生活に勝手に飛び込み、降り注がれてくる。

一方、改憲したくない派の声は日常に見えない。聞こえない。集会の場等に出掛け漸く実存在すると気づく。まっさらの人達が両方の考え方を知って判断ができるようにしよう。日常生活の中に改憲したくない派の声を確かに届けよう。

※編集後記　コロナ禍に加え、天王寺美術館の改修工事で展示室が使用出来ず、初めて郊外のギャラリーを借りる事になりました。天井の高さでは負けますが、「平和の壁に花一輪を」の気迫は変わりません。みに来た人が唸る展覧会として成功させたいものです。惇

平和をテーマにした美術展 ③

展覧会やギャラリーを回って

茶臼山画廊　吉田良男

幼少期から美術が好きだったので仕事に熱中しながらも休みにはギャラリーや美術館を巡りながら作品鑑賞しながら作家さんの人間観察をしたりしている内にだんだんと作品鑑賞よりも会場に偶然居合わせた人や、作家さん、画廊主の人間観察の方が面白くなっていきました。

狭い会場内の緊張した空間での短い会話や他の人らの美術談義、芸術論、世間話、立ち振る舞い、微妙な静寂、無言の仕草など、実に観察していると楽しいものです。作品に感化されてその作風を目標にトライしてみたり、人物に感化されてそれを目標にやってみたり、ギャラリーの緊張した完成された空間の楽しい味わい方は、たとえ非常に短時間の訪問でも奥深いものがあります。

作品のジャンルや会場の大小にかかわらず、洗練された人間や作品に触れることは実に嬉しくもあり有難いことです。

（終）